

2 成果として認められる内容

《小学校・国語》

○指導改善の重点として取り組んできた結果、成果がみられたこと

※「正答率がおおむね80%を上回るもの」を「成果として認められる内容」として整理(国立教育政策研究所 HP より)

※「出題の趣旨」が同じ問題であっても、出題の仕方が異なることにより、正答率が変動することは前提です。

文脈に即して漢字を正しく読んだり書いたりするとともに、
実生活で適切に使えるようにする指導の成果が表れています！



♪この指導は「子どもの目線に立つ2014」(指導改善資料)にも掲載。

- ・正しい発音を理解し、その読み仮名、送り仮名を正しく表記できるよう指導する。
- ・漢字のでき方や意味などを正しく理解し、文脈に合わせて正しく使えるよう指導する。



小学校 A問題 1 - 3 【90.6%】 無回答率【岐阜県】2.1%

<出題の趣旨>

- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読んだり書いたりすることができるかどうかをみる。

<問題の概要>

- ・示された漢字の読みをひらがなで正しく読む。

問題 (2) 「全員がすぐに 承知 した。」

<同一の過去問題>

平成20年度 小学校 **A問題 1 - (2)**

【岐阜県】87.7% 【全国】89.1%

無回答率【岐阜県】5.3% 【全国】4.4%

<問題の概要>

- ・示された漢字の読みをひらがなで正しく読む。

問題 (2) 「全員がすぐに 承知 した。」



・その他、課題とされてきた内容について、指導改善の成果があったと分析される問題の例

・ **小学校 A問題 4 【86.0%】**

<問題の概要>

説明の文章の書き方の工夫として適切なものを選択する。

・ **小学校 B問題 2 - イ 【85.1%】**

<問題の概要>

説明されている難しい言葉の意味を捉え、適切な内容を書き抜く。

《中学校・国語》

○指導改善の重点として取り組んできた結果、成果がみられたこと

※「正答率がおおむね80%を上回るもの」を「成果として認められる内容」として整理(国立教育政策研究所 HP より)

※「出題の趣旨」が同じ問題であっても、出題の仕方が異なることにより、正答率が変動することは前提です。

目的をもって読む活動を行い、文章の特徴を踏まえて中心的な部分と付加的な部分を読み分ける指導の成果が表れています！



♪この指導は「子どもの目線に立つ2014」(指導改善資料)にも掲載。

- ・ 中心に述べられている内容は何か、的確に捉えることができるように指導する。
- ・ 読む目的を明確にし、効果的な読み方ができるように指導する。



中学校 B問題 2 ー 【84.5%】 無回答率【岐阜県】0.2%

<出題の趣旨>

- ・ 目的に応じて文章を要約することができるかどうかをみる。

<問題の概要>

- ・ ウェブページの文章の内容について述べた文の空欄に当てはまる言葉として適切なものを選択する。

<過去の類似問題(出題の趣旨が同様の問題)>

平成26年度 中学校 **B問題 2 ー (1)**

【岐阜県】31.3% 【全国】31.4%

無回答率【岐阜県】0.5% 【全国】0.6%

<問題の概要>

- ・ 本とインターネットの内容を比較したときの説明として適切なものを選択する。

- ・ その他、課題とされてきた内容について、指導改善の成果があったと分析される問題の例

・ **中学校 A問題 8 二 【80.9%】**

<問題の概要>

意図に合った質問として適切なものを選択する。

・ **中学校 B問題 3 二 【85.7%】**

<問題の概要>

物語を読んで、示された箇所の説明として適切なものを選択する。



4 3 2 1

ア ア ア ア

テ 素 3 東
ク 晴 の 京
ノ ら 強 の
ロ しい 運
ジ ー 祝 管
ー 祭 能
力

イ イ イ イ

ア 子 ス 社
ス 供 ポ の 会
リ た ー の 価
ー ち の 真 値
ト ち の 笑 向
の 顔 割 上
の 割 力

の大会開催に向けて世界に約束できる【ア】と、東日本大震災以降、日本人があらためて気づいた【イ】について訴えた。

一 【ウェブページの文章】の内容について述べた次の文の【ア】と【イ】に当てはまる言葉の組み合わせとして最も適切なものを、あとの1から4までのの中から一つ選びなさい。